

キョクトウニュース

皮膚科の診療を開始しました

1月から皮膚科の診療を開始しました。毎週土曜日午前山本洋美先生が診療をおこなっています。

薬局でのビニール袋の配布を終了しました



当院では、お薬をお渡しする際、ビニール袋に入れておりましたが3月31日をもって、ビニール袋の配布を原則終了させていただきました。

ごみの減量と限りある資源の保護のために、ご理解の程、よろしくお願いいたします。



マイバッグのご持参を推奨します

ホームページをリニューアルしました

4月から当院のホームページをリニューアルしました。スマホからも見やすく、ほしい情報を見つけやすいページになりましたので、是非ご覧ください。



岡山旭東病院



脳神経外科、整形外科、脳神経内科、リハビリテーション科、内科、循環器内科、麻酔科、放射線科、リウマチ科、形成外科、泌尿器科、皮膚科、救急科、健康センター、脳卒中センター、サイバーナイフセンター、PET・RIセンター、スポーツ・関節外科センター

〒703-8265 岡山県岡山市中区倉田 567-1
Tel. 086-276-3231 Fax. 086-274-1028
<https://www.kyokuto.or.jp>



4～6月 催しのご案内

感染症の流行状況により、催しが中止になる可能性もございます。
催しに参加される際は事前にご確認のうえ、お越しください。

参加無料 (☆以外)

4/21(火) 14:00～15:00 第118回転倒予防健康教室
22(水) 13:30～14:30 糖尿病教室(2階会議室あさがお)

5/19(火) 14:00～15:00 第119回転倒予防健康教室
27(水) 13:30～14:30 糖尿病教室(2階会議室あさがお)
28(木) 14:00～15:00 脳卒中患者・家族会

6/16(火) 14:00～15:00 第120回転倒予防健康教室
19(金) 14:00～16:00 園芸教室 ビギナーズコースvol.3
☆材料費1,000円
24(水) 13:30～14:30 糖尿病教室(2階会議室あさがお)

※詳細は院内掲示およびホームページをご覧ください

教室へのご参加は
事前に申込みをお願いします

申込み

086-276-3231(代表)
企画広報室

病院統計 (2019年1月～12月)

外来患者延数	82,764人	紹介率	57.5%
入院患者延数	63,333人	逆紹介率	91.3%
新入院患者数	4,327人	救急患者搬入件数	1,871件
退院患者数	4,317人	脳神経外科手術件数	223件
平均在院日数	12.2日	整形外科手術件数	1,924件

愛

広報誌「愛」春号

vol. 74
第176号

● 整えよう療養環境づくりあげよう作業環境(医療安全推進標語)
● 当院では、病気に関連して起きる様々な問題について医療ソーシャルワーカーが相談に応じています。相談は本館1階医療福祉相談課まで

● 敷地内禁煙施設



Model: 左から井上看護部長・諏訪事務部長
平野診療統括部長(整形外科)・吉岡院長
土井英之副院長・三澤薬剤部長・片岡診療技術部長
4月1日より、院長・副院長、各部長が新任しました。

診療時間 午前 9:00～12:00 (8:30受付開始)
午後 14:30～16:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	△	○	△

休 診 木曜午後 / 土曜午後 / 日曜 / 祝日
(但し、急患はこの限りではありません)

あとがき

スタッフの交代がありました。新しいポジションに不安もありますが、必要とされる人間を目指して頑張っていきたいと思えます。

院長 吉岡純二

発行／公益財団法人操風会 岡山旭東病院
企画・編集／岡山旭東病院 広報委員会

岡山旭東病院 季刊誌

愛

2020.4
春号
vol.74

特集

院長 副院長 総院長
対談 吉岡純二・土井英之・土井章弘
～ 想いをつないで未来へ～

キラリ☆元気さん
看護部 看護部長

井上 マサヨ

そこが知りたい
AI 問診導入!

知っ得情報
かかりつけ医をもちましよう

経営理念
一、安心して、生命をゆだねられる病院
一、快適な、人間味のある温かい医療と療養環境を備えた病院
一、他の医療機関・福祉施設と共に良い医療を支える病院
一、職員ひとりひとりが幸せで、やりがいのある病院

ライフサプリ
肝臓の病気

きょうとう連携のわ
ひまわりクリニック

キョクトウニュース
皮膚科の診療を開始しました
薬局でのビニール袋の配布を終了しました
ホームページをリニューアルしました

特集



副院長 土井英之 × 公益財団法人 操風会 総院長 土井章弘 × 院長 吉岡純二

～想いをつないで未来へ～

4月1日から岡山旭東病院の新院長・副院長に就任した、吉岡純二院長と土井英之副院長に、就任への意気込みと今後の抱負について、公益財団法人操風会総院長に就任した土井章弘先生を交えて聞きました。

土井総院長と吉岡院長の出会いとは？

吉岡院長

初めて土井先生にお会いしたのは、1974年5月の岡山大学病院です。私は大学を卒業したばかりで、土井先生は、病棟医長をしていました。しばらくして香川県立中央病院に赴任したときにも、土井先生が赴任されそれから長い間、一緒に仕事しました。研究や留学でさまざまな病院に勤務した後、1988年1月に土井先生に呼ばれて岡山旭東病院へ赴任することになりました。

土井総院長

岡山旭東病院の院長に就任した時に、信頼していた吉岡先生を呼んだんです。当時は医師5名で脳神経外科は、私と吉岡先生の2名でした。今考えるとよく来てくださったな、と思います。(笑)

院長・副院長に就任が決まってから気持ちに何か変化はありましたか？

吉岡院長

当初は、大変なことになったと思いました。今は土井先生が築いてくださった道を引き繋いでいきたいと考えています。

土井英之副院長

前院長・副院長の親族でもあったため、4年前に岡山旭東病院に来たときから、いずれは自分も病院の経営に関わっていくのだろうと考えていました。しかし前院長・副院長が築き上げてきた岡山旭東病院像の凄さを感じていたため、任命された当初は大きくプレッシャーを受けました。

最近は、周りのスタッフが支えてくれていることに気が付くことができ、1人で全てを背負わなくて良いのだと感じています。当院は何事も、多職種のスタッフが一丸となって成し遂げていく雰囲気があるため、大きいと思っていたプレッシャーが軽減され、今ではスタッフと共に歩んでいけることが楽しみです。

これから吉岡院長、土井英之副院長が目指す「岡山旭東病院」は？

吉岡院長

診療内容や手術など、当院の取り組みが他の医療関係者や地域の方へうまく伝わっていないと感じるため、他には負けないという情報発信のできる病院にしていきたいですね。

今後も脳・神経・運動器疾患を強化していきたいと思っています。そのためには、サポートする診療科がなければいけないこともあります。全ての疾患がとはいきませんが、地域で必要とされる、ほとんどのことを当院で完結できる、そんな病院にしていきたいです。



土井英之副院長

岡山旭東病院といえば?と聞くと、『脳』と答えられる印象があります。整形外科も、近年手術件数が増えています。まだ地域や他の医療機関などへの外部広報が弱いと感じるため、学会などを通じ広報していかなければなりません。診療に携わっている方に広報することで、地域住民にも伝わるのではないかと思います。

また、総院長が力を入れていた人材育成を大切にしたいです。当院のスタッフは、職種問わず積極的に、意見を出してくれる風土があります。これは人材育成をしてきた賜物であり、当院の強みだと思います。

そして、地域の方との関係がとても大切です。医師をはじめとした医療スタッフが、地域住民と連携を組み、周辺の地域の人から“当院があるから安心だ”と思っていただける病院にしていきたいです。

総院長より2人にメッセージ

これまで共に過ごし、支えて下さり、とても感謝しています。岡山旭東病院にある理念を、共に目指していったほしい。そして、人間尊重を大切にしてほしい。当院は、経営指針書を毎年作成しています。能力主義ではなく、人間的成長を大切にしてください。

そして、チャレンジ精神を忘れない様にしてください。勿論、むやみやたらに拡張することは望ましくないので

すが、今必要なことに投資をしてください。

新しい院長・副院長と共に、今後も盛り上げていけたらと思います。

土井章弘前院長、土井基之前副院長は、公益財団法人操風会の総院長と理事長として引き続き常勤します。



看護部 看護部長

いのうえ
井上 マサヨ

4月から看護部長に就任した、井上マサヨさんに今後の岡山旭東病院の看護部について伺いました！

Q 看護部長に就任してお気持ちの変化

A 任命された時は、実感と言うより不安しかありませんでしたが、10月の院内学会で「新しい時代へ向けて～現状と未来～」をテーマに看護部の発表をさせていただいた時に気持ちの切り替えができました。目指す未来の看護部が分かり、「今いるスタッフと一緒に頑張りたい」と部長としての責任を実感できました。そのために、人を大切にし、自身が謙虚になることを目標に、日々過ごしています。

Q 職員や未来の看護師に向けてのメッセージ

A パソコンやスマホの普及など、IT社会となり、情報収集能力は増しましたが、人とのコミュニケーションが希薄になっていると感じます。看護師は現場教育で成長するため、その場その場のタイミングで指導をすること、学ぶことが大切です。一言、言葉を付け加え、物腰を柔らかくすることで防げる対人関係トラブルも多くあると思います。先輩看護師さんは、是非自分が大切にしている看護を後輩へ言葉と行動で伝えて欲しいと思います。“看護を語り合ってください”。私自身も看護を通して、看護師として、人として成長させていただいています。スタッフの皆さんも知識や技術だけでなく、看護師として人としての成長を自身で実感していただきたいと思います。最後に、未来の看護師さんへ「看護という感動」を岡山旭東病院で一緒に体験しましょう！

Q 「岡山旭東病院 看護部」を目指すものはどのようなものですか？

A 当院は脳・神経・運動器の専門病院として、急性期に特化した専門的な知識・技術を習得してきました。急性期医療の現場でも、併存疾患として認知症を抱える患者さんが増えています。領域を問わず、高齢者に起こりやすい疾患に対する理解を深めた看護ケアの提供ができるよう、目先の症状だけでなく専門領域以外の疾患や退院後の生活など、患者さんの全体像を看ることが出来る看護師が必要です。医療の視点と生活の視点を磨き、バランスの取れた看護師集団でありたいと思っています。一人ひとりの実践力を高め、チーム力として発揮し、多職種の方々から信頼される看護部を目指してまいります。

そこが知りたい

中国地方で初！

AI問診システム導入

AI問診システム「Ubie（ユビー）」を導入しました。受付で手渡すタブレットにより、選択し画面にタッチするだけで診察前の問診に応えることができます。症状に関する約20の質問は、約5万件の論文から抽出されたデータに基づき、AIが患者さん一人ひとりの症状や年代などに合わせた質問を自動で分析・生成します。回答すると、医療用語に変換されて診察室へ送られます。それにより診察室でのスムーズな診療方針決定のサポート、待ち時間の短縮、対面での診察時間の増加などが期待できます。

自身の症状にしっかりと向き合える

いつ頃から痛みだしたのか、どこが痛いのか、原因に心当たりがないかなど、質問に答えていくうちに自身の症状にしっかりと向き合うことができます。また、限られた診察時間の中で、緊張や忘れなどのため、伝えきれなかった症状も、AI問診なら事前に準備することができるため、医師に正確に伝えることができます。



従来の診察方法

先生の時間がなく、あまり診てもらえない



AI問診を使用すると

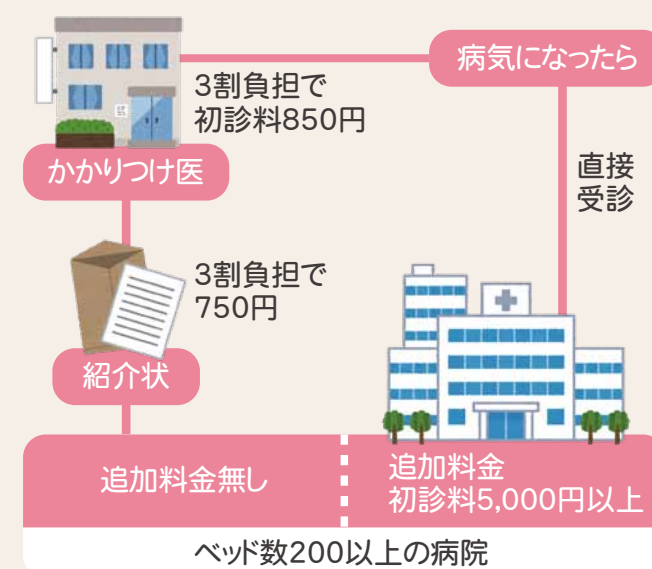
先生は事前に症状が分かる。充実した診察に！



知っ得情報

かかりつけ医をもちましょう

医療保険制度の改正により、令和2年4月1日から、ベッド数200以上の病院では初診時に紹介状をお持ちでない初診患者さんに、5,000円以上の初診時選定療養費を徴収することとなりました。（当院では5,000円）紹介状があることで、適切な検査や治療を円滑に受けることにも繋がるため、当院を受診する際には、かかりつけ医からの紹介状をご持参いただくようご案内しています。また、かかりつけ医を見つけるお手伝いもおこなっていますので、お気軽にご相談ください。



肝臓の病気あれこれ

「沈黙の臓器」と呼ばれる肝臓の病気には、脂肪肝、ウイルス性肝炎(B型・C型など)、アルコール性の肝臓病、肝硬変、肝臓がんなどがあります。B型肝炎は制御でき、C型肝炎は治る時代になってきました。代わって、近年注目を集めているのがお酒を飲まない人の脂肪肝(NAFLD)です。NAFLDの一部は肝硬変や肝臓がんを引き起こします。それだけではなく、NAFLDのある方は糖尿病、心臓病、脳梗塞になりやすいとも言われています。

見つけ方

肝臓病の代表的な症状

- 疲れやすい
- 水がたまってお腹が張る
- 足がむくむ
- 皮膚の色が黄色っぽい
- 原因不明のかゆみがある



上記の症状のある方は早めの受診が望ましいです。しかし、症状が出る前に病気を見つけた方が治療は簡単になるため、「チェックしてみよう」に当てはまる方は一度検査を受けることをお勧めします。

チェックしてみよう

- ☐ アルコールをよく飲む
- ☐ コレステロールや中性脂肪が高い
- ☐ 糖尿病がある
- ☐ 血縁者に肝臓病の人がいる

検査

肝臓病を調べる検査は様々あります。最近ではエコーやMRIを使って肝臓の硬さを調べて診断の参考にする施設も増えてきており、低侵襲で検査をすることができます。当院ではCT検査・MRI検査・エコー検査と血液検査を組み合わせ、状態を調べていきます。

当院での検査



脂肪肝があるか、肝硬変が疑われるか、肝臓がんの心配はないかをCT検査・MRI検査・エコー検査・血液検査を組み合わせで調べます

治療

肝臓病の治療は症状に応じた薬を使用します。

B型肝炎・C型肝炎	お腹に水がたまる	かゆみがある
ウイルス用の飲み薬	尿を多く出す飲み薬	かゆみ止めの飲み薬

肝臓がんの場合は、状況により様々です。高齢者では体に負担の大きい治療を希望しないことも多くっており、当院では負担の少ないカテーテル治療や、副作用の少ない分子標的薬と呼ばれる薬での治療が可能です。



施設の特徴

当院は平成6年4月に新規開業した痛みの治療を専門とする医療機関です。ペインクリニックとしては、全国的にも数少ないクリニックですが、神経ブロック治療を中心に、補完的に薬物による治療を組み合わせ除痛を目的とした治療をおこなっています。頭頸部や肩 upper 肢の痛み、肩こり、背部や腰下肢の痛み、足のしびれなどをはじめ、ヘルペスによる疼痛などを対象としています。誰にとっても痛みは耐えがたい症状なので、こうした痛みを可及的すみやかに取り除きます。最近では、痛みを放置したままにしておくと、厄介な慢性痛に移行することがあり、早めの除痛治療が重要であるといわれています。

診療モットー

痛みを取り除くことで、患者の皆様が笑顔を取り戻すことができる医療を心がけています。



診療科目 麻酔科

診療時間 午前 9:00～12:30
午後 15:00～17:30

	月	火	水	木	金	土
午前	○	△	○	○	△	○
午後	○	△	○	○	△	○

休 診 火曜 / 金曜 / 日曜 / 祝日

〒700-0861 岡山市北区清輝橋2-1-23

☎ 086-222-8122 Fax: 086-222-8122



◆公共交通機関をご利用の場合

岡山駅より 両備バス 岡電バス
「清輝橋」下車 徒歩2分
路面電車 終点「清輝橋」を下車 徒歩2分
駐車場 3台